

7月の行事予定

19	水	給食最終日、大掃除、地区別児童会
20	木	1学期終業式
21	金	夏季休業日(～8/31)
22	土	
23	日	6年生親子ふれあい活動
24	月	個別懇談①
25	火	個別懇談②
26	水	個別懇談③

8月の行事予定

1	火	いのちと人権の日
6	日	2年生親子ふれあい活動
14	月	学校閉庁日
15	火	学校閉庁日
16	水	学校閉庁日
26	土	まつ☆サポ環境整備活動8:00～9:00
31	木	夏季休業最終日

9月の行事予定

1	金	始業式、登校指導、いのちと人権の日
2	土	
3	日	
4	月	給食開始、いのちと人権集会
5	火	放
6	水	がんばりタイム(高)
7	木	がんばりタイム(低)
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	朝会
12	火	放
13	水	がんばりタイム(高)
14	木	5年サイエンス・トライやる授業 がんばりタイム(低)
15	金	4年見学旅行、学年費自動振替日
16	土	PTA奉仕作業
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	放
20	水	スクールカウンセラー出勤日
21	木	がんばりタイム(低)
22	金	3年環境体験学習
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	児童朝会、委員会活動
26	火	放

放 放課後子ども広場

文化委員による読み聞かせ



朝の読書タイムに文化委員が各教室へ行き、絵本の読み聞かせを行いました。文化委員の児童は、いつもは読み聞かせを聞く方ですが、今回は立場が逆転し、大変緊張しながら各教室に向かっていました。読み聞かせが終わり、みんなから大きな拍手をもらって、満面の笑みがこぼれていました。

コミスク委員のあいさつ運動

学校のあいさつ運動強化に、保護者や地域(見守りボランティア、子ども会、老人会、有志)の協力をいただいています。いつもありがとうございます。写真は、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)委員による朝のあいさつ運動の様子です。



PTA救急救命講習会

PTA安全対策部主催の救命講習会が行われました。西脇消防署員から手ほどきを受けて、心肺蘇生法を学習しました。119番通報してから、救急車到着まで平均7分ほどかかるそうです。その間に我々ができることを実習しました。



平日夜間・土日祝日の小学校への緊急連絡は、役場32-2380、教育委員会32-2395まで



学校教育目標：いのちと人権を大切にし、こころ豊かでたくましく生きる児童の育成

松井小学校のホームページ<http://www.takacho.jp/matsuies/> 「松井小」で検索

子どもへの声かけ「間違ってる」はダメ！

校長 橋本 衛



子どもの勉強を見てあげているとき、「ここ間違ってるで、やり直し！」という言葉をよく大人は口にします。実は、間違いの指摘は、子どものやる気をダダ下がりにならせてしまう原因になっているようです。

子どもが勉強や宿題をがんばっているのに、やったそばから「そこ間違っているで」と親からダメ出しをされるとテンションが下がってしまいます。大人でも間違いをすぐに指摘されたら、イラっとなりますものね。

中でも、「失敗」や「否定される」ことに敏感な子どもは、答え合わせの時に赤ペンで書かれた×を嫌い、全部○じゃないと泣き出したり、怒り出したりもします。多くの子どもが、「間違い＝ダメな子」、「間違い＝恥ずかしい」と考えているからです。

間違えることは恥ずかしいことではないということを、子どもに伝えることも大切です。新しいことを覚えようとすれば、間違えるのは当たり前です。勉強をし

て間違えることは悪いことではなく、間違えた問題をしっかりと理解せずに間違えたままにしておくの方が悪いことです。「失敗は成功のもと」ということを、我々大人は経験上からもよく知っているはずですよ。

子どもには、間違えた数だけ成長できることを、ぜひ伝えたいですね。

では、どのように声をかけるのか？ 子どもには、「ちがう！」「ダメ！」というような間違いを直接的に伝えず、間接的な表現で伝えます。「おいしい！」（おしくない時にも使います）「うーん、残念！」や「もう一度見直してみようか」といった具合です。

また、×を嫌う子どもには×以外の印で、△や付箋、問題番号を○で囲むなどで伝えるのがいいようです。

プール水泳授業

コロナ感染防止のため、ストップしていたプール水泳も去年から再開しています。しかし、子どもた

ちの泳力において、3年間の停止の影響は大きいです。普段の水泳授業に加えて、今年も多可町立温水プールから菅長コーチに来ていただき、泳ぎの上達を図りました。子どもたちも、自分の泳力を少しでも伸ばそうとがんばっていました。5・6年生には、海や川での事故を防ぐためにいのちを守る授業「ういてまて教室」も実施しました。水難学会より講師を招き、水難の際に浮いて救助を待つ方法を教えていただきました。毎年、海や川での悲しい事故が報道されますので、とても大切な学習です。体力を消耗させないよう、とにかく体の力をぬいて、浮いて待つことが大事だそうです。



あいさつがんばり隊

松井小学校のあいさつ運動を強化するために、児童有志による「あいさつがんばり隊」を結成しました。

児童会が全校集会で、あいさつがんばり隊結成の趣旨を説明して隊員を募集したところ、67名の応募があり、児童の関心の高さに驚きました。松井小学校をもっとよくしたい、みんなの役に立ちたいと思うその気持ちがとてもうれしいです。現在、隊員を10班に分けて、毎日活動を展開しています。業間休みと昼休みに、児童会黒板前の廊下と1階階段前の廊下で、通行する児童にあいさつをしています。また、児童会企画委員会が毎朝、正門と西門に分かれ、登校してくる児童にあいさつ活動をしています。



体育館での決起集会の様子



1階階段前の廊下



児童昇降口横の廊下

素敵ないあいさつをする児童を見つけると、隊員からリーフ型の用紙が渡されるので、自分の名前を書いて掲示してもらえることになっています。さらに、下校集会時には、当番活動をしたそれぞれの場所でよくあいさつができた学級や登校班がみんなの前で発表されています。

5年ぶりの親子球技大会

6月24日(土)には、授業参観と親子球技大会を行いました。熱中症が心配されるほどの晴天に恵



まれ、楽しい時間を持つことができました。学年によって、ドッチビーだったり、転がしドッチだったりしましたが、高学年のドッチボール大会は、なかなか激しい競技が行われていました。児童は、親を越えようとし、親はまだまだ負けぬとがんばられたようです。

しかしながら、どの学年の子どもたちにとっても、学年の親と競技するという非日常の行事に大変喜んでいました。多くのご参加、ありがとうございました。



1年生給食センター見学



毎日おいしくいただいている給食がどのように作られているのか見学に行き

ました。ちょうどこの日は、松井小学校の2年生が前日に皮むきした玉ねぎが調理されていました。調理する大きなお鍋や大きなひしゃくにもびっくりしていました。

6年生租税教室



西脇税務署と役場から職員さんにお越しいただき、税金についての学習を深めました。もし、税金がなければどんな暮らしになるのかをアニメ動画で考えました。また、1億円(みほん札)の入ったジュラルミンケースの重さにびっくりしていました。

3年生環境体験学習



3年生が、なか・やちよの森公園に出かけ、自然と触れ合う環境体験をしました。沢登りをしたり、公園内の動物・植物を観察して、班ごとに学習したことを模造紙にまとめたりしました。まとめた模造紙をもとに、班ごとに発表していました。写真は、発表を聞いている様子です。



環境委員会による花苗植え

環境委員会が玄関先の花壇に花の苗植えをしました。サルビアやマリーゴールドをていねいに植え付けてくれています。また毎日、当番で花の水やりもしてくれています。

懇談等で学校にお越しの際は、ぜひ花壇をご覧ください。



図書室活用授業

3年生の国語の教科書には、図書館の本の分類の基本に触れて、必要な知識や情報を得ることに読書が役立つことを知る学習があります。今回は、実際に図書室で図書館アドバイザーの中川先生に、そのことについてレクチャーしていただきました。3年生以上は、図書の授業を行っていないので、努めて図書室利用の授業を設けていきます。



4年生わくわくベルディー

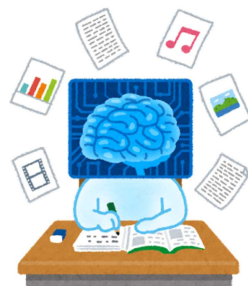
多可町内の4年生が一堂に会し、文化施設や演芸に触れるわくわくベルディーが開催されました。普段見ることができない裏方を見られることも魅力です。キャストウォークと呼ばれる客席を見下ろせる天井裏も歩かせてもらいました。また、玉田玉秀齋さん、



旭堂南歩さんの講談を聞かせてもらったり、各小学校の代表が、「やあやあ、我こそは…」という名乗りを披露したりもしました。



チャットGPTなどの利用について



今、注目を浴びている生成AIは人工知能の一種です。子どもたちに、これらを使いこなす力を育てることは大切なことですが、一方で人工知能に頼ることで子どもたちが身につけるべき能力が育たないという懸念もあります。これからの社会を生きていく大切な能力として、自分でもごとの善し悪しを考えて評価・判断することがあげられます。すなわち、自分にインプットされた情報に対し、自分の意見をまとめたり、創作したりするアウトプット能力が大切になってくるのですが、この力に大きく影響が出ると言われています。子どもの利用には、慎重な対応が必要ではないでしょうか。

今、注目を浴びている生成AIは人工知能の一種です。子どもたちに、これらを使いこなす力を育てることは大切なことですが、一方で人工知能に頼ることで子どもたちが身につけるべき能力が育たないという懸念もあります。これからの社会を生きていく大切な能力として、自分でもごとの善し悪しを考えて評価・判断することがあげられます。すなわち、自分にインプットされた情報に対し、自分の意見をまとめたり、創作したりするアウトプット能力が大切になってくるのですが、この力に大きく影響が出ると言われています。子どもの利用には、慎重な対応が必要ではないでしょうか。